



第17回 APSTJ 製剤技術伝承実習講習会 「探索から臨床へつなぐ効率的プレフォーミュレーション評価」

本実習講習会では、専門家による少人数制の実技指導によりプレフォーミュレーション研究のノウハウを伝承します。今回は受講者32名（講師13名）が参加し、充実した2日間となりました。

会期：2019年8月29日（木）～ 30日（金）

会場：星薬科大学

主催：製剤技術伝承委員会（瀬田康生委員長）
／実習講習会準備委員会（米持悦生委員長）

共催：物性 FG



講義

全員で講義を受講し、基礎知識を習得しました。

池田先生
(武田薬品)

米持先生
(星薬大)

近藤先生
(静岡県大・薬)



ランチョンセミナー&展示ブース

協賛企業13社から最新の分析機器の紹介があり、情報交換も活発でした。



実習

4班に分かれ、熟練の企業研究者の丁寧な指導の下、技術を習得しました。

実習課題 A 「結晶化の基礎と塩・共結晶・多形スクリーニングへの応用」

高田先生・谷田先生
中外製薬(株)

実習課題 B 「製剤設計のための最先端の物性データ取得と解釈」

山本先生・辛島先生・木本先生
武田薬品工業(株)

実習課題 C 「高分子固体分散体制剤の合理的設計のための評価法」

溝口先生・岩田先生・山口先生
アステラス製薬(株)

実習課題 D 「予測モデルによる原薬・製剤安定性の短期評価法」

田村先生・篠崎先生
第一三共(株)



実践的な実習講習会で、“企業の若手研究者の成長に最適”と大変好評です。第18回にも多くのご参加をお待ちしております。

編集：東 顕二郎（千葉大・薬）